

「新ごみ処理施設整備基本計画（素案）」に関するパブリックコメント ご意見の概要と市の考え方について（結果）

● パブリックコメントの実施状況

(1) 意見募集期間

令和5年12月25日～令和6年1月24日

(2) 意見の内訳

提出方法	郵送	FAX	Eメール	持参	その他	合計
人数	1	8	6	4	0	19

● 意見の概要と市の考え方

提出いただいたご意見および市の考え方は、次のとおりです。

NO	頁	意見箇所	意見等の概要	市の考え方
1	P1	<p>基本計画の策定の背景等 計画の目的と経緯</p> <p>地震の災害リスクが小さくないということから、いずれの応募地も「不適」との建設検討委員会答申の内容を踏まえ、令和4年7月に建設予定地は「適地なし」と決定しました。</p>	<p>公共施設を減らさなければならないなど市の財政状況は厳しいため、現環境センターを建て替えることを有力な選択肢として今はまだ残しておく必要があります。</p> <p>活断層に近接しているから不適ということは論理性に欠けます。地震のリスクは活断層の評価や地盤の状況を含めて総合的に評価するものです。現環境センターは活断層の直上でもなく、花折断層北部の評価や地盤の状況を踏まえると、地震による災害リスクが市内の中で比較して特段に高いとは言えないと考えられます。</p>	<p>現環境センターは、現在、燃やせるごみの中継施設として利活用し、三重県伊賀市へごみを搬送する際の効率化を行うことで、輸送費の削減を図っていますが、新ごみ処理施設が稼働した後は、解体撤去し、公共施設の適正化に努めます。</p> <p>なお、仮に現環境センターを建て替えるとした場合でも、同様に解体撤去費を要するところです。</p> <p>また、現環境センターの地震リスクの評価につきましては、先の建設候補地の公募の際に、複数の専門家（地震学、地盤工学、建築構造）の意見を参酌しての「高島市ごみ処理施設建設検討委員会」での検討評価を経て「不適」との答申を得ました。</p> <p>市としてもこれを重く受け止め、建設候補地に選</p>

				定しておりません。
2	P1-2	基本計画の策定の背景等 計画の目的と経緯	<p>H27年（2015年）に「あり方懇」から答申を受けてから、早や8年が経ち、様々な取り組みを進めてこられています。その時間と、労力、費用は大きく、とても重要な課題であると言えます。この時点においてはありますが、このまま進むのは、高島市政においても、悔いを残すのではという思いで、パブリックコメントを出すことにしました。</p> <p>まず、いつも「法律に定められた市町村の責務」と言われますが、ごみ処理場の「あり方懇」で答申されましたように、「広域化」も選択肢にあることは明らかです。そして、広域化の可能性について尽力された経緯もあります。豊中市、伊丹市のような大きな自治体においても、広域化（ごみ資源のエネルギー化において問題はありますが）で処理されています。従って、処理方法は市内で焼却するだけではないことは、現在においても、重要な選択肢であると考えます。過去には、可燃ごみの多くは、CO2を排出源となる「焼却」だけでしたが、H11年（1999年）からエネルギー資源として利用することで、化石燃料に変わる足元の「未利用資源」として廃棄物の活用がもとめられる時代になっています。地球温暖化の急激な進行とともに、現在、そし</p>	<p>高島市環境センター在り方検討委員会からの「適正規模の確保が期待でき、スケールメリットが働きやすい、広域処理を検討すべき」旨の答申を踏まえ、複数の近隣自治体と協議を行いました。それぞれの自治体で既に計画が進められており、広域化を行うことが整わず、単独設置の方針としたところです。</p> <p>広域化は、環境対策、経済性ならびに効率性の観点から、目指すべき方向性ですが、現時点においても、近隣自治体との状況に変わりなく、広域化できる状況にありません。</p> <p>なお、現在計画している施設では、規模的に発電することは難しく、熱エネルギー利用による温水発生や暖房利用、敷地内道路の融雪などに利用することを考えております。</p> <p>さらに、管理棟にも可能な限り省エネ設備を採用し、エネルギーの消費を抑え、脱炭素社会へ貢献できる施設としてまいります。</p>

		<p>て今後、さらに CO2 の削減とエネルギーの脱化石が求められています。</p> <p>新ごみ処理施設は 2029 年から稼働する予定ですが、世界では、早急に気温上昇を 1.5℃に抑える目標を持ち、2029 年は、CO2 の排出が半分の社会をめざしているところではないでしょうか。本当に残念ですが、ごみ処理場建設を高島市で単独で行う決定をしてから、時代に逆行した政策だったと言えます。日本の小規模焼却場を減らし、ごみを化石燃料に変わる資源として活用する方向に、高島市が方向転換することを心から願います。地震と、また気候変動による自然災害が増えることが予想されていますが、そこで、でる災害ゴミは、焼却する必要があります。そこで、単なる焼却でなく、エネルギーとしての活用がされないのは、あまりにももったいないと考えます。災害ゴミを含めて考えるなら、エネルギー化は必ず必要と考えます。</p> <p>これまで、様々な取り組み、努力をされていますが、ごみを焼却し、CO2 を排出すること、運転するために多くの電力を消費し、灯油を多くはないとしても消費すること、そして、年間 5 億円を運営費用として税金から投入する施設であることは大きな負の遺産となると考えます。ま</p>	
--	--	--	--

			だ建築されていない現在、政策を転換されることを心からお願いいたします。
3	P1	基本計画の策定の背景等 計画の目的と経緯	ごみとどう向き合うかという事は「日々の生き方」に直結します。 高島市で育った人々・子どもたちの価値観にも大きく影響します。 このような貴重な転換期に立ち会えた事に感謝し、将来後悔しないよう、市民として真剣に参加させていただきます。
	P109	概算事業費	これまで2度の公募と泰山寺地区選定の経緯を見させていただきました。「小規模焼却施設を新しく建設する」ことによるメリットが少ない(発電できない規模である事・住民合意が得られていない事)一方、これまで幾度と議論にあげられてきた「広域化」「現環境センター建て直し」が適当でないことの根拠と経緯が曖昧にされたままであることに大きな疑問を感じています。 広域化に関しては実現すれば最も財政負担・環境負荷が少ないはずです。広域処理は国の指針でもあります。小規模のごみ処理施設はこれからの将来おそらく負の遺産となります。 今回建設費は多くを国庫補助金に頼れる計画ですが、維持費は支出として毎年市民の負担とな

			<p>り続けます。</p> <p>高島市の規模では小規模焼却施設しかつくれず、「発電できない＝売電できない」＝「財源にならない」のであれば、「支出を抑えられる方法」を考えるのが自然ではないでしょうか。</p> <p>過去に広域処理交渉の経緯があることは認識しておりますが、時間がたった今どうなのか、具体的に方法を探ってみていただきたいです。現状のように民間の事業者処理を委託することも広域処理の考え方と同様かと思えます。ごみを減量できたら処理に掛かる支出も減る仕組みが理想です。</p> <p>もしくは、発電できる規模の施設を高島市につくり、共同で運営できる自治体を募集することは選択肢としてないでしょうか？どうせ建設するのであれば、日本のごみ処理問題とエネルギー問題を牽引するくらいのビジョンを提示して、且つ売電収入で維持費を補填できる自立した施設にして、高島市の、滋賀県のイメージアップに活用していただきたいです。</p>	
4	P1	<p>基本計画の策定の背景等 計画の目的と経緯</p> <p>しゅん工後 19 年が経過し、</p>	<p>◎ 多額の費用が、見込まれるとしても、通常は、同施設を改修或いは、その場所で新設すべきです。他の自治体は、そのように対応しています。</p>	<p>現環境センターにつきましては、先の建設候補地の公募の際に、地震リスクに関して、複数の専門家（地震学、地盤工学、建築構造）の意見を参酌しての「高島市ごみ処理施設建設検討委員会」での検討</p>

	<p>リサイクル施設も含め、施設の老朽化が著しく、今後必要とされる施設の改修には多額の費用が見込まれています。</p> <p>また、焼却炉の形式が「流動床式ガス化溶融炉」という特殊な構造であり、引き続き安定的に稼働させるには高い知識と技術が必要となっています。</p> <p>平成 30 年 8 月から 10 月にかけて建設候補地の公募を行い、応募のあった 2 地域から、同委員会による選定評価結果報告書の答申を踏まえ、・・・・・・同意を得られたことから、令和 4 年 9 月に「安曇川町田中地先（泰山寺区）」を建設候補地として選定し、周辺地域への説明を行うとともに、建設検討委員会に諮問し、多角的に評価した結果、災害リスクも相対的に低く適地との答申を受け、令和 4 年 12 月に建設予定地として決定しました。</p>	<p>◎ 「流動床式ガス化溶融炉」という特殊な構造であり、引き続き安定的に稼働させるには高い知識と技術が必要とありますが、それはクリアできないことではありません。</p> <p>◎ 休止中の施設にある「流動床式ガス化溶融炉」方式を撤去し「ストーカ式焼却炉」方式を取り入れることに、何か問題があるのですか？ 何故、旧施設のエリアで対応しないのか？不思議です！ 詳細な回答を発表してください。</p> <p>◎ 高島市ごみ処理施設建設検討委員会を設置され色々議論された経緯は理解します、しかしこれまで実施した 2 回の建設候補地公募において、災害リスク等の懸念により建設用地の選定を断念した経過を十分踏まえ、令和 4 年 12 月に安曇川町田中地先（約 4.3ha）を建設予定地として決定し、今般、新ごみ処理施設の整備に係る基本的な方針をとりまとめましたとありますが、何故最終的に泰山寺エリアなのか、説明が未だ不十分だと感じます。本自治会への説明会はありません。 特に周辺住民に詳細な説明をお願いいたします。</p>	<p>評価を経て「不適」との答申を得ました。 市としてもこれを重く受け止め、建設候補地に選定しておりません。 施設の整備、運営には、地元自治会のご理解とご協力が重要であり、泰山寺区からの申し出を契機に、市としてハザードマップによる災害リスク等を考慮したうえで、これまで市内のすべての区・自治会を対象に 2 回にわたり公募を実施した経過も踏まえ、候補地として選定しました。 以降、「高島市ごみ処理施設建設検討委員会」へ諮問し、これまでの応募地との相対評価も行い、最適地と判断しました。 今後とも、ご理解をいただけますよう、説明に努めてまいります。</p>
--	--	--	---

5	P3	基本計画の策定の背景等 計画目標年度	・リサイクル施設は R14 年度稼働となっているが、年々日々気候危機を感じ温暖化、自然災害を目の当たりにしているのに、8年も先にしか本格的なリサイクルができないとは全く遅すぎる。プラ新法が 2022 年にスタートしているのに、具体的な取り組みを進めるべきである。	新リサイクル施設では、プラスチックごみの分別収集処理を予定しており、適切にリサイクルするためには、不適物が混ざっていないか選別を行った後、資源化業者に引き渡す必要があるため、今回の事業の中でそのような処理を行う施設を建設する計画としています。財政的な事情からごみ焼却施設と同時施工は困難ですが、ごみ減量の取り組みは引き続き推進していきます。
6	P5 および P103	基本計画の策定の背景等 建設予定地の位置 および 配置計画 配置計画の基本的な考え方 配置の基本案	泰山寺野の高原の中の高い場所に現在の計画地があり、景観を観光に活かすエリアと考えた場合は核心部になります。泰山寺野の景観を観光に活かすためには、建物の設置場所を変更する必要があります。建設予定地内での配置を工夫しても景観への影響が避けられない場合は、建設予定地を移動させることも必要です。	配置については、現段階で想定される典型的な配置を例示したものであり、今後、事業者の技術提案を基に協議を行いながら、決定していきたいと考えております。 併せて、泰山寺の景観を阻害することのないよう、地元の皆様のご意見をお聞きしながら、景観対策を検討してまいります。
7	P6-7 P76-89	基本計画の策定の背景等 施設整備基本方針 環境に配慮した施設 処理設備等計画 余熱利用計画 その他 CO2 削減に向けた取り組み	・公害対策は進んでいるだろうが、それでも CO2 は発生する。最も環境に負荷をかけないのは、可燃ゴミを削減する事である。私も近所の人も知人も、生ゴミを分別して堆肥化したり、市が回収していない食品トレーや紙パックを店へ持って行き、ゴミを減らそうと努力している人が多い。しかし仕事で忙しい人や高齢者がそういった事を積極的に行うことは難しいので、市が生ゴミを別にして回収できる様に（希望者に回収容器を配り、土にして返している自治体もある）紙等のリサイクルを回収車を回す（玄関先	これまで、生ごみ処理機や生ごみコンポストの補助を創設し、生ごみ減量の取り組みを推進してきました。 これに加えて、段ボールコンポストは他の堆肥化容器と比較しても、比較的安価なため気軽に始められますことから、作り方や実施の様子を、市のホームページでも「段ボールコンポストマニュアル」として公開していますので、市民の皆様にもご協力頂きつつ、今後も普及を推進していきます。 また、新たなプラスチックごみのリサイクルも新ごみ処理施設稼働にあわせて推進し、ごみ減量に努

			<p>に出しておけば良い) などの取り組みをしてほしい。</p> <p>新婦人の会としてこういった事を要望したが、現状以上の取り組みをしないと返答され失望した。それではいけないのではないか。</p>	<p>めていきます。</p>
8	P6	<p>基本計画の策定の背景等 施設整備基本方針 環境に配慮した施設</p>	<p>現在、高島市のゴミは大栄環境グループ傘下の三重中央開発株式会社に搬入し、焼却処理されています。</p> <p>大栄環境グループは「グループ顧客基盤・信頼関係」として高島市を含む顧客（排出事業者）より年間 2,562 千トンを受け入れています。</p> <p>そして、「社会全体の温室効果ガス（二酸化炭素）削減への貢献」として、サーマルリサイクル施設による削減貢献（2023 年 3 月期の総発電量は 59,533MWh と報告されています。（「大栄環境グループサステナビリティレポート 2023」より）</p> <p>高島市の当該施設の処理予測量は「新ごみ処理施設整備基本計画（素案）」22 ページに示されています。そしてエネルギー回収率は 10～30%、「当初より発電施設は考慮していない」とされています。</p> <p>焼却設備の整備計画年度は令和 11 年度。そこで完成する高島市のゴミ処理施設は炭素の計算のみでは、着炭素の施設として完成することになります。将来の計画に、大栄環境グループでの処理を引き上げ自前の設備に切り替える事によ</p>	<p>現在は、緊急避難的に三重県伊賀市の許可を得て、同市にある民間施設で処理を行っている状況です。</p> <p>この民間委託処理は、継続的に実施することは認められていないことから、早急に施設を建設する必要があると考えています。</p>

			<p>る社会全体への温室効果ガス削減への非協力はあってはなりません。 計画は中止すべきです。</p>	
9	P6	<p>基本計画の策定の背景等 施設整備基本方針 地域に貢献し、親しまれる 施設</p>	<p>ゴミ工場の施設デザインについては、市議会においても議論されました。ただ残念なことに、参考とされた施設は何れも当時の政権野党の組長の、それも大都市のものであり、中でも広島市のそれは平和公園を借景としたかの様、わが市にとっては参考とすべき要素は皆無でした。その後、施設検討委員会副委員長が講演で長野県下などの例をおしめしいただき、わが市のロケーションと同じな施設デザインを紹介していただきました。田園配慮した施設であって欲しいと願います。</p>	<p>施設のデザインについては、地域の景観に十分配慮した施設となるよう、今後、地元のご意見を踏まえながらコンセプトを具体化し、事業者の技術提案を求めていると考えております。</p>
10	P15	<p>計画条件の収集・整理 搬出入車両条件 搬出入道路</p>	<p>観光客が訪れるルート、生活や仕事の道路、ごみ収集車の搬入路それぞれの動線を区別する必要がありますので、道路配置の工夫や道路整備が必要です。</p>	<p>搬入ルートをどのようにするかについては、現在検討中です。 頂いたご意見を踏まえて、環境面や安全面はもとより、財政面にも十分配慮して検討を進めてまいります。</p>
11	<p>P15 P89</p>	<p>計画条件の収集・整理 搬出入車両条件 搬出入道路 処理設備等計画 地域振興策</p>	<p>具体的な搬入経路が依然確定しない要因は何でしょうか？ 周辺地域からの反対でしょうか？ 状況によっては解決のために新しい道を作るなど予算が予定より増額していくのではないのでしょうか。泰山寺地区の中で現在のエリアに決定した経緯として主要道路に面して建設費が抑えられるからと説明を受けましたが、状況に</p>	<p>搬入ルートをどのようにするかについては、現在検討中です。 頂いたご意見を踏まえて、環境面や安全面はもとより、財政面にも十分配慮して検討を進めてまいります。</p>

			<p>よっては風花の丘付近など他のエリアの方が予算的にも景観的にもよかったという事になりませんか？住民合意が得られていない中で強引に進めることで予算が膨れ上がっていくように思えて心配です。</p> <p>当初は計上されていなかった、後付けの「周辺地域に対する地域事業交付金制度」に関しても同様に、市政運営のためのお金の使い方としてプロセスが正しいのか疑問です。</p>	
12	P19-28	計画処理量・計画ごみ質の設定	<p>焼却炉の火力維持に必要な最低ごみ量はどの程度でしょうか？</p> <p>ごみ量の予測では年々ごみ量が減少する計画ですが、新しく作ったごみ処理施設で将来ごみが足りなくなってプラスチックや灯油を焼却補助に使うという本末転倒な事になる可能性はありますか？</p>	<p>1 炉 24 時間で処理するごみ量は、21.5 t です。</p> <p>ごみ量がそれより減った場合は、休止日数を増やし、ごみ量に合わせた運転を行っていきます。</p>
13	P29-31	施設整備規模の設定	<p>「混ぜればゴミ、分ければ資源」で分別を徹底し、ゴミの減量分別に結びつく施設を。</p> <p>リサイクルを徹底することで、焼却ごみが半減する。</p>	<p>これまで、生ごみ処理機や生ごみコンポストの補助を創設し、生ごみ減量の取り組みを推進してきました。</p> <p>これに加えて、段ボールコンポストは他の堆肥化容器と比較しても、比較的安価なため気軽に始められますことから、作り方や実施の様子を、市のホームページでも「段ボールコンポストマニュアル」として公開していますので、市民の皆様にもご協力頂きつつ、今後も普及を推進していきます。</p> <p>また、新たなプラスチックごみのリサイクルも新</p>
14	P29-31	施設整備規模の設定	<p>地球温暖化が目に見えて進み、災害が各地で起こっている今、市民にできる対策の一つがごみを減らす事だと思う。「混ぜればゴミ、分ければ資源」で分別を徹底し、焼却施設を小さくして欲しい。43 トン/日は、高齢化と人口減少を反映してとのことで、市民にゴミ削減は訴えられてい</p>	

			ない。市民と力を合わせてごみ削減に向けて取り組んで欲しい。分別の中でとりわけ生ごみを焼却ごみとは分け、堆肥にして欲しい。また、リサイクル施設の建設も予定を繰り上げ、早急にとり組んで欲しい。	ごみ処理施設稼働にあわせて推進し、ごみ減量に努めていきます。
15	P29-31	施設整備規模の設定	<p>生ごみは有機資源としてリサイクルできている技術が進んでいます。水分が重量の 8 割とも言われていますが、それを焼却する為にせつかく分別回収した廃プラを燃料として投入しているときいたりします。</p> <p>紙おむつに関しても同じです。大人用の紙おむつは今後増していくと思います。</p> <p>現在、地震で大変な被害がでている珠洲市ですが、バイオマス（生ゴミ等）を生かした事業をおこなっている市として、ずっと関心を寄せていました。軌道にのるまでの苦労話も含め、再度読み直しています。高島市民に呼びかけ分別回収し、リサイクル事業に市がコラボしてほしいです。</p>	<p>これまで、生ごみ処理機や生ごみコンポストの補助を創設し、生ごみ減量の取り組みを推進してきました。</p> <p>これに加えて、段ボールコンポストは他の堆肥化容器と比較しても、比較的安価なため気軽に始められますことから、作り方や実施の様子を、市のホームページでも「段ボールコンポストマニュアル」として公開していますので、市民の皆様にもご協力頂きつつ、今後も普及を推進していきます。</p> <p>また、新たなプラスチックごみのリサイクルも新ごみ処理施設稼働にあわせて推進し、ごみ減量に努めていきます。</p> <p>使用済み紙おむつは、資源化の処理技術が確立しておらず、加えて、紙おむつメーカーやリサイクル事業者の参画が必要なことから、現時点で実施できる段階にありませんが、今後、高齢化社会の進展に伴い解消が望まれる課題でありますことから、国や県の動向なり、技術動向を注視してまいります。</p>
16	P29-31	施設整備規模の設定	リサイクル施設が令和 14 年度の稼働を目指すがあるが、早期に繰り上げられないか。リサイクル施設の充実と収集に力を入れる必要を感じ	新リサイクル施設では、プラスチックごみの分別収集処理を予定しており、適切にリサイクルするためには、不適物が混ざっていないか選別を行った後、

			る。	資源化業者に引き渡す必要があるため、今回の事業の中でそのような処理を行う施設を建設する計画としています。財政的な事情からごみ焼却施設と同時施工は困難ですが、ごみ減量の取り組みは引き続き推進していきます。
17	P29-31	施設整備規模の設定	<p>気候危機打開のため、政府は「2050年カーボンゼロ」をかかげている。</p> <p>「混ぜればゴミ、分ければ資源」で分別を徹底しCO2の発生を抑制するため、焼却施設を小さくしてほしい。</p> <p>このため、市民と力を合わせてゴミ削減に向けた取り組みを強めてほしい。</p> <p>生ゴミと紙おむつの減量が一つのポイントと思う。</p>	<p>施設規模については、これからの人口・ごみ量減やリサイクル処理を見込んだ数値で考えており、運営段階においてもごみ量を減量することで、ごみ処理費用を縮減していきたいと考えております。</p> <p>これまで、生ごみ処理機や生ごみコンポストの補助を創設し、生ごみ減量の取り組みを推進してきました。</p> <p>これに加えて、段ボールコンポストは他の堆肥化容器と比較しても、比較的安価なため気軽に始められますことから、作り方や実施の様子を、市のホームページでも「段ボールコンポストマニュアル」として公開していますので、市民の皆様にもご協力頂きつつ、今後も普及を推進していきます。</p> <p>また、新たなプラスチックごみのリサイクルも新ごみ処理施設稼働にあわせて推進し、ごみ減量に努めていきます。</p> <p>使用済み紙おむつは、資源化の処理技術が確立しておらず、加えて、紙おむつメーカーやリサイクル事業者の参画が必要なことから、現時点で実施できる段階にありませんが、今後、高齢化社会の進展に伴い解消が望まれる課題でありますことから、国や</p>

				県の動向なり、技術動向を注視してまいります。
18	P76-80	処理設備等計画 余熱利用計画	<p>大津市の北部クリーンセンターは建替え前は温浴施設を併設していましたが建て替え後は無くなっています。温浴施設のメンテナンスや利用率など大津市の経緯を参考に現実的なのかを熟考していただきたいです。</p> <p>「施設内に温浴施設を設けることとする」とありますが、決定事項なのでしょうか？温浴施設単独の収支計画はあるのでしょうか？ニーズはありますか？利益はありますか？逆に支出を増やす設備になるのであれば絶対に付属しないでください。</p> <p>ごみは資源です。市の財源となりうる資源です。そしてごみ政策を見直せる機会は約20年に一度です。</p> <p>後悔しないよう、今一度計画の見直しをお願いいたします。</p>	<p>温浴施設の整備は、労働安全衛生の観点から、施設作業員用の浴室が必要であり、それを地域還元施設として一般開放することで、設置費や運営費を抑えることとしています。</p> <p>市外からの来訪者の施設利用も見込まれ、地域振興への寄与も期待されるところです。</p> <p>また、熱源には、ごみ焼却により発生する熱エネルギーを回収し、有効活用してまいります。</p>
19	P76-89	処理設備等計画 余熱利用計画	<p>《余熱利用》について</p> <p>42tのごみを焼却してできる熱エネルギーは相当な熱量だと言えますが、10%だけエネルギー利用を計画されましたが、補助金の交付要件の10%に合わせてとのことだと思いますが、どうしても、90%の熱エネルギーの放置はとてもしたいないと言えます。ある程度規模が大きければ、100%の回収が可能なはずで、今後ますます</p>	<p>ごみ焼却廃熱については、ダイオキシン類の再合成を防ぎ、排ガス有効煙突高を確保するためにも、200℃弱の温度で排出することが必要となります。そのため、熱エネルギーの100%回収は大規模なごみ処理施設でも行っておらず、技術的には困難と考えておりますが、可能な限りの熱エネルギーの回収と有効利用に努めてまいります。</p> <p>なお、余熱利用については、施設の温水や暖房、</p>

			<p>す必要だと考えます。</p> <p>高額のコストをかけてダイオキシン・公害対策をし、さらに高温で処理しているにも関わらず、CO2の排出源でしかないのは、もったいないのではないのでしょうか。</p> <p>熱の利用には、インフラが必要ですが、短期間での計画ではなく、10年20年30年で小さな地域からの熱供給を事業として、投資の視点でコスト回収しながら計画することはできないのでしょうか。目先の資金でできないと結論を出すのではなくて、考えてください。</p>	<p>融雪などに活用してまいりたいと考えております。</p>
20	P81	<p>処理設備等計画</p> <p>煙突高の設定</p>	<p>煙突の高さ45mを基本にするとのことですが、安心安全を優先させると煙突は高い方が排ガスは拡散されることから、高くしてもらいたい。</p>	<p>煙突の高さは、新施設では法規制値や現施設よりもさらに厳しい排ガス基準を設けることなどを考慮した上で、環境保全が図れることを前提に、できるだけ景観面から周辺地域への影響が少ない高さまで抑えることが望ましいと考え、45mを基本としています。</p> <p>なお、排ガスの拡散による環境影響に関しては、現在実施している生活環境影響調査の結果を踏まえて、適切に判断したいと考えています。</p>
21	P76-89	<p>処理設備等計画</p> <p>防災拠点機能</p>	<p>《防災拠点機能》について</p> <p>熱エネルギーで所内の暖房ができるということで、被災された人には、温かい避難場所は心強いはずですが、電気が化石燃料の発電機では役に立たないのではないのでしょうか。CO2排出ゼロ</p>	<p>現在計画している施設では、規模的に発電することは難しく、熱エネルギー利用による温水発生や暖房利用、敷地内道路の融雪などに利用することを考えております。</p> <p>さらに、管理棟にも可能な限り省エネ設備を採用</p>

			の再生可能エネルギーとごみ発電で地域の防災拠点にするという考え方をお願いいたします。	し、エネルギーの消費を抑え、脱炭素社会へ貢献できる施設としてまいります。
22	P76-89	処理設備等計画 その他 CO2 削減に向けた取り組み	<p>《資源循環・脱炭素化の推進》について この計画は、SDGs の視点から見ても、不十分であると言えます。</p> <p>100%熱エネルギー回収による電力の自給、売電、売熱、さらに、太陽光発電、太陽熱温水器、生ゴミの醗酵メタンガスを LNG に変わる燃料として利用し、RE100 の 100%脱化石のセンターを目指してください。</p> <p>目先の計算ではなく、10 年先 20 年先そして 2050 年 CO2 排出ネットゼロの社会に貢献する事業にさせていただきますようお願いいたします。</p>	
23	P89	処理設備等計画 地域振興策	周辺地域に 2 億円の振興費の根拠が不明。納得できない。	施設の整備、運営には地域のご理解とご協力が重要と考えています。
24	P89	処理設備等計画 地域振興策	<p>泰山寺に 2 億円 周辺 7 地区に 2 億円 振興費を配布することは納得できない。</p> <p>また、「周辺 7 地域が要望する事業は優先実施する」のも納得できない。みんなきちんと税金を払っているのに、そんな不平等を市民は受け入れられない。周辺地域にも緊急に取り組まなければならない課題はたくさんある。</p>	<p>これまでの建設検討委員会からの「応募地に近接する周辺自治会への配慮として、負担に応じた地域振興策を予め想定しておく必要がある」旨のご意見、さらには県内他市の対応状況等を踏まえ、検討いたしました。</p> <p>施設の整備運営に伴う、泰山寺区および周辺地域における生活環境の課題解決を図り、地域振興に資するため、交付金を適切かつ有効に活用していただくよう、制度設計してまいります。</p>
25	P90-94	事業方式の検討	DBO 方式という事業方式ですが、多くの自治体で	ごみ量を減らせば処理費も減るような支払い体系

			採用されてメリットも多いとのことですが、今後、炭素税の導入など、高島市の税収への負担は増えないのでしょうか。また、ごみ減量で処理量が減るとしても、処理費用は一定でしょうか？ 反対に、DBO が、ごみ資源の熱、電気エネルギーの利用で、売電、売熱をすることになったり、また、リサイクル資源の収入も増加があると思いますが、運営費への反映はあるのでしょうか。	を念頭に置いており、引き続きごみ減量を行うことで、運営費は節減できると考えております。 なお、施設が小規模であることから、効率性の面を勘案し発電は行いませんが、熱エネルギー等の適切な活用により、市の財政支出抑制に努める考えです。
26	P94	事業方式の検討 今後の方向性	DBO 方式は、業者の利益が優先され、撤退などの不安があり反対します。 従来方式（直営＋運転委託）が望ましい。高島市の財産となるゴミ処理施設は直営でこそ、リサイクルにも市民の協力が得られやすく、ゴミ減量に繋がる。	DBO 方式の場合においても、事業者が実施しなければならない業務内容を詳細に規定し、それらを適切に履行した上で事業者の利益を生み出すこととなります。事業者都合による途中撤退に対しても、念のためペナルティや契約保証金（または履行保証）を設定し、ごみ処理を停止することのないよう備えます。
27	P94	事業方式の検討 今後の方向性	・DBO 方式は業者の利益が優先されるため、何かトラブルがあった時に、責任を取ってもらえない、撤退されるなどの不安が拭えない。建設検討委員会で、他市の状況などを見て DBO ありきで決定されたように思う。すぐれた従来方式の経験に学び、検討されたい。	建設検討委員会においては、従来方式や DBO 方式以外の手法も含めて比較検討しました結果、DBO 方式を採用し、民間事業者の創意工夫を発揮いただき、市民サービスの向上、財政支出の削減を期待できると考えています。 市といたしましては、発注者として、民間事業者の運営に対して管理監督を行うとともに、引き続き、ごみ分別、ごみ減量の啓発に努めてまいります。
28	P107	施設のデザイン 比較コンセプト案	景観を観光に活かすためには、市が示している A 案、B 案、C 案いずれについても、建物の外観を	A 案、B 案、C 案は、比較イメージ図としてお示ししているものであり、この中から選定をするのでは

		A 案、B 案、C 案	もっと工夫する必要があります。	なく、地元のご意見も踏まえつつ、さらに検討を行っていく予定です。
29	P109	概算事業費	住民の合意が得られていないのに、泰山寺ありきで計画が進められ、未来の世代に巨額の負担を押し付けるのは許されません。高れい化が進むのに、お金をかけるのは福祉や教育に。高島らしく、身の丈にあった施設建設を。	<p>現在、実施している三重県伊賀市での民間処理も継続的に実施することは認められていないことから、早急に建設する必要があると考えております。</p> <p>なお、施設規模については、これからの人口・ごみ量減少やリサイクル処理量を見込んだ数値で考えており、運営段階においてもごみを減量することで、ごみ処理費用を縮減していきたいと考えております。</p>
30	P109	概算事業費	泰山寺地区で新たに整備する場合は、現環境センターの解体撤去など原状回復に関する作業費を全体事業費に含める必要があります。	<p>現環境センターは、現在、燃やせるごみの中継施設およびリサイクル施設として利活用しており、新ごみ処理施設の竣工までは使用し続ける必要があります。</p> <p>なお、新ごみ焼却施設や新リサイクル施設の竣工が近づきましたら、現環境センターの解体撤去費用を積算し、予算計上してまいります。</p>
31	P109	概算事業費	総額 250 億とあるが、不確定な費用が多く、どこまで膨らむか不明でコメントの仕様が不明。	施設規模については、これからの人口・ごみ量減少やリサイクル処理量を見込んだ数値で考えており、運営段階においてもごみを減量することで、ごみ処理費用を縮減していきたいと考えております。
32	P109	概算事業費	・現在の建設予定の総額が 250 億とあるが、住民の合意が得られていないのに、泰山寺ありきで計画が進められ、未来の世代に巨額の負担を押し付けるのは許されない。さらに物価高騰や円安、関西万博や能登半島地震の復興などで、今後、建設資材の高騰や人員不足などで工期が長引くことも予想される。ゴミを極力削減し、	

			環境に配慮した小さな施設を望む。	
33	P109	概算事業費	<p>250 億円という建設事業費と聞くと、さらに物価高、資材不足で上がる可能性がある。高島市にあった身の丈に合った施設にすべきだ。</p> <p>進入・退出の道路を泰山寺に作るというが、それは泰山寺の良き環境、美観を破壊するばかりか、この予算以外の支出となるという、環境破壊までして、膨大な予算を出すのは認められない。環境に配慮した小さな施設にすべきだ。</p>	
34	P109	概算事業費	<p>・ 250 億と総額があげられていますが、物価高騰を思うと、さらに増えると思われます。今後の人口減少を思うと、もっとコンパクトな施設ができないかと思います。</p> <p>お金をかけるところがちがうのではないのでしょうか。</p> <p>高齢化が進むことを思うと福祉にお金をかけることが大事かと思います。</p>	
35	P109-111	概算事業費	<p>・ 建設費、運営費で 250 億円、そこへ道路整備や温浴施設などもっと費用がふくらむというが、小さな市でそんな負担ができるのか。子、孫世代に大きな負担になるのではないか。議会で、広報で、もっとしっかり明らかに見通しを示してほしい。</p> <p>人口、ゴミが減っていくのにもっと規模を小さくすべきである。</p>	
36	P109	概算事業費	ゴミの減量、CO2 排出削減は世界の流れである。	これまで、生ごみ処理機や生ごみコンポストの補

			<p>市民の協力の下、ゴミ減量の施策（生ゴミの堆肥化、プラスチックの減量、リサイクルの推進など）を大胆に打ち出すべきだ。大規模焼却施設ありきではなく、身の丈に合った、未来志向の焼却施設にすべきだ。</p>	<p>助を創設し、生ごみ減量の取り組みを推進してきました。</p> <p>これに加えて、段ボールコンポストは他の堆肥化容器と比較しても、比較的安価なため気軽に始められますことから、作り方や実施の様子を、市のホームページでも「段ボールコンポストマニュアル」として公開していますので、市民の皆様にもご協力頂きつつ、今後も普及を推進していきます。</p> <p>また、新たなプラスチックごみのリサイクルも新ごみ処理施設稼働にあわせて推進し、ごみ減量に努めていきます。</p>
37	P109	概算事業費	<p>周辺地域に 2 億円の振興費を出すと言うが、私の住むガーデンタウンには何の話もない。1KM をわずかに超える地域だが、民家がたくさんある。当然、環境への影響は大きい。きちんと説明すべきである。万が一作る場合は、振興費を充てるのは当然である。</p>	<p>施設の整備、運営には地域のご理解とご協力が重要と考えています。</p> <p>これまでの建設検討委員会からの「応募地に近接する周辺自治会への配慮として、負担に応じた地域振興策を予め想定しておく必要がある。」旨のご意見、さらには県内他市の対応状況等を踏まえ、検討いたしました。</p> <p>周辺地域の地域振興事業交付金については、1km 圏内もしくは、泰山寺区と隣接する区・自治会を対象と決定いたしました。</p> <p>施設の整備運営に伴う、泰山寺区および周辺地域における生活環境の課題解決を図り、地域振興に資するため、交付金を適切かつ有効に活用していただくよう、制度設計してまいります。</p>
38	P109-111	概算事業費	<p>《用役費》</p>	<p>現在計画している施設では、規模的に発電するこ</p>

			<p>毎年、1億2400万円の消費電力がありますが、今や、製造工程においても、再生可能エネルギー100をめざすRE100企業が増えています。公共事業であれば、なおさら重要かと思えます。ごみ焼却の工程におけるエネルギーを再生可能エネルギーで自給し、エネルギー費用ゼロにするという点からも、ぜひ可燃ごみのエネルギー化をしてください。</p>	<p>とは難しく、熱エネルギー利用による温水発生や暖房利用、敷地内道路の融雪などに利用することを考えております。</p> <p>さらに、管理棟にも可能な限り省エネ設備を採用し、エネルギーの消費を抑え、脱炭素社会へ貢献できる施設としてまいります。</p>
39	P109-111	概算事業費	<p>《人数》</p> <p>24+16人ですが、最新の設備の場合、本当に人の気配がないはずですか。多くないでしょうか。</p>	<p>焼却施設は24時間運転体制で管理することと想定しており、すべての作業員が常駐しているわけではなく、交代しながら運転を行っております。</p> <p>平日の昼間の時間帯の作業員が一番多くなり、計量作業や焼却施設の運転、リサイクル施設の運転が同時に実施されることとなります。</p>
40	P109-111	概算事業費	<p>《運営費》</p> <p>20年間の運営費は100億+37億円は、毎年(5億+1.85億=)6.85億円になります。現状の処理量で行われている大栄環境グループに依頼している費用と比べて、少なくなっていますか。建設費用が不要な分、このまま大栄環境グループにお願いするのもよいのではないのでしょうか。大栄環境グループでは環境報告書によると、積極的に廃棄物からエネルギーを創造する取り組みをされています。現状ですでに、大きな発電事業をされています。問題は、ごみ資源を出している高島市には何の収入にもなっていない</p>	<p>現在は、緊急避難的に三重県伊賀市の許可を得て、同市にある民間施設で処理を行っている状況です。</p> <p>この民間委託処理は、継続的に実施することは認められていないことから、早急に建設する必要があると考えています。</p>

			<p>ことですが、有効に活用されているという点でも、良いのではないのでしょうか。</p>	
41	P109-111	概算事業費	<p>《建設工事費》は、ごみ焼却施設が約 81 億円（税込み）、リサイクル施設が約 32 億円（税込み）ですが、先に計画されていた建設費用より大きくなっていませんか？この先稼働年には、さらに人口減、高齢化で、ごみ処理量が減る可能性もありますが、建設費用は、さらに、上昇もありうるのではないのでしょうか。</p> <p>建設費用は、国の費用だからと、安易に考えず、国家財政が厳しい中、税金は教育、子育て費用などのような未来への投資になるようなものにこそ使っていただきたいと思っています。</p>	<p>建設費は年々増加傾向にあり、先の計画当時よりも建設費が高騰し、ご意見のようにこれからも増加することも予想されます。</p> <p>一方で、三重県伊賀市での民間処理も継続的に実施することは認められていないことから、早急に建設する必要があると考えております。</p> <p>施設規模については、これからの人口・ごみ量減少やリサイクル処理量を見込んだ数値で考えており、運営段階においてもごみを減量することで、ごみ処理費用を縮減していきたいと考えております。</p>
42	P110	概算事業費 運営費	<p>市は、泰山寺周辺の 7 つの区・自治会にも新たな地域振興事業交付金を提示し、交付金は合計 4 億円に膨らんでいます。交付金の金額を膨らませることによって運営費を膨らませるよりも、計画の内容を工夫したり変更したりすることによって地域の方々の懸念を小さくすることが重要です。</p>	<p>施設の整備、運営には地域のご理解とご協力が重要と考えています。</p> <p>これまでの建設検討委員会からの「応募地に近接する周辺自治会への配慮として、負担に応じた地域振興策を予め想定しておく必要がある」旨のご意見、さらには県内他市の対応状況等を踏まえ、検討いたしました。</p> <p>施設の整備運営に伴う、泰山寺区および周辺地域における生活環境の課題解決を図り、地域振興に資するため、交付金を適切かつ有効に活用していただくよう、制度設計してまいります。</p> <p>また、地域のご懸念をしっかりと受け止め、誠意を</p>

				もって適切な対策を講じてまいります。
43		その他	<p>総額を明らかにせず、部分的な情報提供でパブコメを募集して良いのか。</p> <p>・業者への施設建設・運営費に限らず、これから現ごみ処理場の原状復帰や、道路の整備、温浴施設など予算は膨らむと思われる。その予算を明らかにせず、建設費だけをオープンにして、パブコメを求め、「市民の声」を聞いたとするのには無理がある。</p>	<p>現環境センターの原状復帰については、どこに建て替える場合（現場も含む）でも、解体撤去費を要するところです。</p> <p>また温浴施設の整備は、労働安全衛生の観点から、施設作業員用の浴室が必要であり、それを地域還元施設として一般開放することで、設置費や運営費を抑えることとしています。</p> <p>道路整備費については、今後、泰山寺区や周辺地域にご意見を頂戴し、検討してまいります。</p> <p>これらについて、今度、具体的な内容なり、事業費等を検討、積算した上でお示ししてまいります。</p>
44		その他	<p>平素は、当自治会活動にご理解とご協力をいただきありがとうございます。</p> <p>令和5年1月20日付けで意思表示しましたように、新たなごみ処理施設の必要性は十分に理解しているところですが、泰山寺における建設予定地で整備を進めること、および中野から泰山寺への道路をごみ処理施設へのごみの運搬車両が通過することのいずれについても、当自治会としては現時点でも反対としているところです。</p> <p>これまでの経緯についてですが、令和4年12月議会では、「周辺地域の住民や関係者の方々からの理解が得られるよう、十分に合意形成を図ること」が附帯決議されました。</p>	<p>搬入ルートをどのようにするかについては、現在検討中です。</p> <p>頂いたご意見を踏まえて、環境面や安全面に十分配慮して、検討を進めてまいります。</p>

		<p>また、令和 5 年 9 月議会においては、福井市長は「周辺地域の皆様に丁寧に説明し、ご意見をいただき、必要な場合には計画に反映する他、周辺地域の生活環境の保全上の課題や懸案事項等をお聞きした上で、その解決に向けて、市として誠意をもって対応してまいります」と答弁されました。</p> <p>それにもかかわらず、市は、このような議会の決議や市長の答弁を何ら実行されていません。</p> <p>このような中で、泰山寺における建設予定地で施設を整備するための各種計画を作成されていることは誠に遺憾です。</p> <p>特に搬入計画の中で、中野から太山寺への道路をごみ収集車の搬入路として位置付けるといった案を示されていますが、中野から太山寺への道路をごみ収集車が頻繁に通過するという懸念が、泰山寺を建設予定地とする計画に反対する大きな根拠であるため、下記の理由により、中野から太山寺への道路をごみ収集車の搬入路として位置付けることは断じて容認できません。</p> <p>市としての適切な対応、および委員会としての適切なお判断をしていただきますよう重ねてお願いいたします。</p> <p style="text-align: center;">記</p> <p>1. 現道活用（西）ルート沿いには、良好な環境を求めて移住される方々を積極的に呼び込</p>	
--	--	---	--

			<p>み、移住促進が実現してきたエリアがあります。</p> <p>このエリアでは新築が増加したり空き家の利用が進んでおり、中野自治会における子育て世代の住民が確保され、自治会活動の維持に大きく寄与してまいりました。</p> <p>また当ルートは、観光や交流を目的とした通行を想定して整備されてきた経緯があります。実際に当ルート沿いでは、田舎暮らし体験施設や地域の食材を活かしたレストランなど、良好な環境や田舎の雰囲気を活かして地域の活性化を図る取り組みを複数の中野自治会員が生業として進めているといった特徴があります。</p> <p>もし、現道活用（西）ルートがごみ収集車の搬入路に指定されますと、このような生業への著しい不利益が発生したり、良好な環境を活かした移住促進および子育て世代の確保が困難になるなど、地域の活性化や当自治会活動の維持に大きな支障を来す恐れがあります。</p> <p>2. 特に現道活用（西）ルート第 2-3 案および第 2-4 案については、実質的に中野の集落内を通ることになり、小さいお子さんを持つ家庭もルート沿いにあることから、集落住民の安全・安心な生活に大きな支障を来す恐れがあります。</p>	
45		その他	南古賀区内を通る 2 つの搬入ルート案については削除してもらいたい。	

46	その他	<p>搬入ルートについての案がいくつか出ていたが、別線ルート第 2 案は通学路に干渉するため子供達も利用する道なので絶対に反対です。</p> <p>大型トラックが何台も通ることに不安しかありません。</p> <p>コンサルに委託する際に、通学路は危険だし外すという話にはならなかったのか。</p> <p>ご意見を伺いながら、相談に応じて…と言うのならこのルートの案はなかったことにしてください。</p> <p>絶対に反対です。</p>	
47	その他	<p>ごみ処理施設の建設にあたり、高島市民の関心やイメージが自分たちのことなのにうすすぎると思います。建設予定地に近い地域ばかりに負担がいつています。</p> <p>市民の大半は、まさか、行政が私たちの悪いようにするはずはない、と信じています。</p> <p>今こそ、自分たち一人ひとりの行動が自然破壊の一端に加担してしまっているのかもしれないと気づく時だと思います。めんどくさくさながら、ごみの分別に協力し、ごみ処理場が臭くて危険でいやなものだと思わなくするための学習を各地でおこなってほしいです。</p>	<p>新ごみ処理施設の整備をはじめ、ごみ分別収集処理については、「広報たかしま」での記事連載やホームページを通じて、周知、啓発に努めています。加えまして、学校や地域を対象に環境学習会も実施しています。これらについて、ごみ処理施設に対する正しい理解と認識をいただくため、今後も継続して実施していきます。</p> <p>また、新たな施設では、環境学習設備等を設け、特に市内の小学生を対象に社会科見学を実施、ごみ処理やりサイクル、環境について学べる場を設けたいと考えています。もちろん、一般の方にも見学できるように運営を行う予定です。</p>
48	その他	<p>原発 UPZ についてのみ意見します。平成 20 年より UPZ の範囲は、原発施設より 45km となり（滋賀県設定、高島市追隨）、わが市は UPA と非 UPZ</p>	<p>令和元年 10 月 2 日に、大栄環境株式会社と「災害廃棄物等の処理に関する基本協定」を締結し、地震等災害および不測の事態により、市の一般廃棄物処</p>

			<p>に区分されました。新ゴミ施設は UPZ 圏内に位置します。(現環境センターも同じく同圏内です。)</p> <p>全面緊急事態となった場合、同圏内の住民は屋内退避となります。町の日常機能・活動は停止を余儀なくされます。ごみ処理施設も又緊急停止しなければなりません、搬出入も停止しなければなりません。その後はモニタリングによって相応の対策が講じられることになっています。</p> <p>考えるべきなのは非 UPZ 圏内の日常生活です。当初は相応の混乱が予想され、生活も一時停止など混乱が予想されます。しかし、法の建前からすれば日常生活があつてゴミもでます。しかし、工場への搬入は出来ないこととなります。</p> <p>安全・安定のためには、隣接市への搬入が不可避であり、事前の提携、協力関係の構築が必要です。原子力災害の規定にそつて、環境省の近畿事務所に調整をお願いし、当該事態への対応の事前のルールを定めて頂きたいとおもいます。</p> <p>ただ、混乱の回避のためには、全市を UPZ 圏内とし、災害対策の統一と集中を確保すべきと思います。そして、災害対策にもルールを定め、その為の消防署などとの合同訓練を重ねることで住民の皆さんの安全・安心につながります。</p>	<p>理施設において処理が困難となった災害廃棄物等の処理が円滑に実施できるよう備えています。</p> <p>ご懸念のような緊急事態に陥り、市の一般廃棄物処理施設における処理が困難となった場合には、当該協定に基づき処理支援いただけることとなっています。</p> <p>また、現在、県、市町、一部事務組合で組織する「滋賀県廃棄物適正管理協議会」においても、事故時および災害時の処理施設の相互支援体制についての課題整理を行っており、不測の事態に万全を期すことができるよう検討を進めてまいります。</p>
--	--	--	--	--

			ご検討をお願いします。	
49		その他	<p>すでに決まっていると云われるかもしれませんが</p> <p>次世代のために又温暖化が進まないように</p> <ul style="list-style-type: none"> ○多くの自治体がやっている生ごみの堆肥化をする ○朽木の環境センターを再利用する ○多額のお金を使わない <p>市職員さん全員でゴミ問題真剣に取り組んで下さい</p>	<p>これまで、生ごみ処理機や生ごみコンポストの補助を創設し、生ごみ減量の取り組みを推進してきました。</p> <p>これに加えて、段ボールコンポストは他の堆肥化容器と比較しても、比較的安価なため気軽に始められますことから、作り方や実施の様子を、市のホームページでも「段ボールコンポストマニュアル」として公開していますので、市民の皆様にもご協力頂きつつ、今後も普及を推進していきます。</p> <p>また、プラスチックごみの分別収集処理を予定しており、可燃ごみの減量に努めてまいります。</p> <p>現環境センターは、現在、燃やせるごみの中継施設として利活用し、三重県伊賀市へごみを搬送する際の効率化を行うことで、輸送費の削減を図っていますが、新ごみ処理施設が稼働した後は、解体撤去し、公共施設の適正化に努めます。</p>
50		その他	<p>巨額の費用を投じて時代に逆行するような焼却方式を新たに建設するのが最善なのだろうか。約 250 億の費用も大きく膨らむと予想される。焼却以外の方法についても可能性を追求し、ごみの資源化にもっと注力してほしい。国内には見習うべき環境先進都市がいくつかある。今やごみをごみで無くすという「ゼロ・ウェイスト」の取組みが主流である。その視点が本計画には乏しいように感じる。行政の本気が市民の意識</p>	<p>焼却方式以外にバイオマス化施設やトンネルコンポストなど、処理方式はありますが、そういった処理方式は導入実績が少なく、まだ技術も確立されていないことから、建設検討委員会では高島市には相応しくないとの評価を踏まえ、検討いたしました。</p> <p>現環境センターは、当時の最先端であったガス化溶融方式を採用したものの、ダイオキシン類事案を起こしたことから、二度と起こしてはいけないと肝に銘じており、焼却方式で導入実績も多くあり、技</p>

			<p>や社会の変革をもたらすと信じたい。まだまだ本件について市民の関心は低いと思われる。広く意見を募る必要がある。豊かな自然を謳っている高島市が本気でごみ問題に取り組み持続的な未来モデルを目指すことこそ魅力的な町づくりに結びつくのではないだろうか。</p>	<p>術も確立されたストーカ方式を採用させていただきました。</p>
51	その他	<p>京都市から高島市民（当時は新旭町民）となり20年になります。転入当初は「何でも燃やすごみ」収集方式に困惑しましたが、分別収集の考えが進められ現状に到達しています。</p> <p>基本計画では「収集ごみ今後の方向性」として、可燃ごみ等の減量化とあり、その主な要因は、プラスチック製品の収集・資源化にあると示されています。</p> <p>高島市ごみ行政と市民ごみ意識の協力共同関係を強めれば可燃ごみ減量化をさらに進めることができるのではないのでしょうか。</p> <p>まず燃えるごみのうち、さらに分別可能なものを捻出できないか、検討してほしいと思います。</p> <p>生ごみをごみ袋に入れる時、私が気掛かりなのは生ごみをもっと減らせないか、ということです。いま取り組まれているのは、①水分をよく絞る、②各家庭で堆肥化する、です。残念ながら私はまだ②に参加できていませんが、7ページ関連するSDGsの趣旨に沿って堆肥化について市民意識を啓蒙する取り組みを充実させてほしい</p>	<p>これまで、生ごみについては、生ごみ処理機や生ごみコンポストの補助を創設し、生ごみ減量の取り組みを推進してきました。</p> <p>これに加えて、段ボールコンポストは他の堆肥化容器と比較しても、比較的安価なため気軽に始められますことから、作り方や実施の様子を、市のホームページでも「段ボールコンポストマニュアル」として公開していますので、市民の皆様にもご協力頂きつつ、今後も普及を推進していきます。</p> <p>使用済み紙おむつについては、資源化の処理技術が確立しておらず、加えて、紙おむつメーカーやリサイクル事業者の参画が必要なことから、現時点で実施できる段階にありませんが、今後、高齢化社会の進展に伴い解消が望まれる課題でありますことから、国や県の動向なり、技術動向を注視してまいります。</p>	

			<p>のです。具体的には②について、どの程度市民に定着しているのか調査・分析し公表することで関心を促すことになるのでは、と思います。</p> <p>もう一つは紙オムツの「燃えるごみ問題」です。まずは、福祉施設（介護・保育など）と病院の拠点収集を先行させ、行く行くは一般家庭にも広げてほしい。高齢化対策としても、資源化する研究を早急に進めていただきたく存じます。</p> <p>以上、よろしく願いいたします。</p>	
--	--	--	---	--